

令和6年度 群馬県立ゆうあいピック記念温水プール事業計画

I 基本方針

当館は障害者や高齢者のスポーツを通じた社会参加とリハビリテーションの拠点施設として、その理念に基づいた事業を実施する。

II 事業内容

障害者スポーツの振興では、障害者が日常的に水泳に親しむ機会の提供と、水泳の楽しさを感じられる環境づくりに努め、将来のスイマー育成を目指す。

また、「健康寿命延伸の拠点施設」として、障害者、高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう、「からだに健康！こころに元気！」に資する事業を実施し、地域で信頼される施設を目指す。

さらに、当館の設置理念に共鳴する県内民間企業と事業を協働することで当館独自の事業を推進し、施設のPRと利用者サービスの向上を図る。

III 本年度の重点的取組と数値目標

1 プール事業の充実

(1) 障害児（者）への水泳普及によるスポーツ振興

障害児（者）対象の水泳教室（水慣れ・水遊び）を引き続き開催し、水泳を始めるきっかけづくりと、継続した教室（初心者・初級者）への参加により水泳競技への興味を高めることで、将来のアスリートの養成を目指します。

(2) 健康づくり教室

プール利用者が心身ともに健康で質の高い生活を送るサポートとなるよう、計画的に各種の健康づくり教室を開催し、健康寿命の延伸に寄与します。

ア 水中運動教室の開催

県民健康科学大学との共同事業の検証結果を参考にして、フレイル予防・認知症予防・介護予防に取り組む「3大予防教室」を実施する他、スマートウォッチを活用して運動の効果を可視化する「スマートエクササイズ教室」や、有酸素・筋トレ・バランスを基にした「マルチコンポーネント運動教室」などの新規事業を行っていきます。

イ 水中運動器具ハイドロトーンを利用した水中有酸素運動の促進

ハイドロトーン認定講習会の開催と、その効果的使用のための専用コースの設置や定期的な指導など、利用方法を工夫して足腰に負担の少ない水中有酸素運動を促進します。

(3) その他のプール事業

ア 誰でも自由に参加できる水中レクリエーションを行う「ひまわり教室」を開催します。

イ 水泳の個人レッスンやビデオ撮影で利用者を指導するワンポイントレッスンを行います。

ウ 利用者自らが水中歩行や泳ぎの距離を記録し、群馬県1周を目指す「群馬めぐり」を行います。

2 「からだに健康！こころに元気！」をキーワードに開催

(1) からだに健康塾の開催

障害者や高齢者が気軽にスポーツに取り組むきっかけ作りとなり、生涯スポーツの振興と利用者相互の交流を図ることを目的に開催します。

ア 障害者と健常者の交流としてプールを全面使用した「水中球技大会」を新たに行います。

イ 優良企業協賛による「PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）事業」として障害児者を対象とした「群馬ヤクルト水中運動会」や障害者と高齢者等の交流を目的とした「群馬ヤクルト杯ゆうあいグラウンドゴルフ大会」をそれぞれ年間1回開催します。

ウ 体力、体内年齢を測定し健康管理を行う、「生き生き健康測定」を県民健康科学大学との共同で年間6回開催し、健康教室参加者のデータ測定と併せてプール利用の効果を検証します。

エ 芝生広場を使用して「ゆうあいグラウンドゴルフ大会」を年間1回開催します。

(2) こころに元気塾の開催

障害者や高齢者のメンタルケアの一環として、多くの仲間を増やし孤立化防止やストレス解

消を図り、心のゆとりを生む時間を提供することを目的に開催します。

- ア 障害者と健常者の交流を目的として、来場者全員が楽しめる「ゆうあいフェスティバル」を様々な企業や団体等の協賛を得て年間1回開催します。
- イ 日本の伝統的な季節のイベント（こどもの日・七夕・県民の日・冬至・新年餅つき・ひな祭り）を行います。
- ウ 職員やボランティアが講師となり、自らの特技や趣味で指導する「文化教室」を年間2回開催します。
- エ ハイキングを楽しみ、満開の桜の下で昼食をとる「健康ハイキング」を年間1回開催します。

3 地域に密着したサービスの実施

(1) 地域における公益的な活動

- ア 「渋川市高齢者等あんしん見守りネットワーク」に参加し見守り活動を行います。
- イ プールの無い保育園や小・中学校にプール授業の場を提供します。
- ウ 児童を対象に障害者や高齢者に対する思いやりの心を育成する子供福祉体験を行います。
- エ 障害を理解し、共生社会を目指すために障害者週間記念イベントを開催します。
- オ 環境美化を目的に、近隣の道路を清掃するクリーン作戦を行います。

(2) 利用者サービス

- ア 整形外科相談・内科相談・リハビリ相談を毎月各1回行い、利用者の身体機能や健康の回復をサポートします。
- イ 看護師による健康相談を行い、利用者一人一人に合った水中運動を指導します。
- ウ 渋川市内の駅や団地を中心に交通手段のない障害者や高齢者のために、送迎バスを運行します。
- エ 当館の利用を希望するが交通手段が無い場合は、依頼により近隣障害者施設に直接出向く無料送迎（デマンド送迎）を行います。

4 環境保全に対する取組と人にやさしい福祉のまちづくり

(1) 3R運動の実施

- ア リデュース（抑制）として、灯油年間使用量の削減と、電力の省エネに努めます。
- イ リユース（再利用）として、ゆうあい図書館にて古本の貸出しを行います。
- ウ リサイクル（再生利用）として、古新聞、プラタブ、ボトルキャップの回収を行います。

(2) 環境美化活動（利用者・ボランティア・職員が三位一体となって実施）

- ア プール北斜面、ロータリー広場に草花を植える花いっぱい運動を行います。
- イ ラウンジ外側にグリーンカーテンを設置して、省エネに努めます。

(3) 人にやさしい福祉のまちづくり

- ア 平成18年度5月適合証が交付された施設の維持管理と障害者の利便性を考慮した工夫を行います。
- イ 「緊急行動計画」を作成し、緊急時に迅速に対応できる体制を作るとともに、事故が起こりうる箇所を事前に把握し、対処することにより事故を防ぎます。
- ウ ユニバーサルデザインを取り入れることにより、子供から高齢者、障害者すべての利用者が見やすい、わかりやすい使いやすいを基本とした館内にします。

(4) 利用者の意見を聴いて満足度アップ

- ア 利用者の苦情や要望に迅速に対応するため、利用者満足度調査を実施します。
- イ 「ゆうあいポスト」、「ありがとうボックス」を併せて設置し、意見や要望をより把握できるようにします。
- ウ 群馬県社会福祉事業団個人情報保護規程及び「群馬県社会福祉事業団特定個人情報取扱規程」に基づき、個人情報を保護します。
- エ 群馬県社会福祉事業団情報公開規程に基づき、必要な情報を開示します。

(5) 利用者が設立したクラブの応援

- ア 歌声コーラス、手話コーラス、リズムダンスクラブの活動を積極的に応援します。

5 研修の充実

(1) ボランティア・職員研修

障害者・高齢者が安心して施設の利用ができるよう、日頃から障害者の介助や当館の教室・イベントをサポートしていただいているボランティアへの研修を行うとともに、職員の専門知識の向上に努めます。

ア ボランティア研修

(ア) 登録ボランティアに対して、必要な知識や技術及び救助訓練等の研修を年間4回行います。

(イ) 新規ボランティアの心得を習得するためのボランティア講習会を年間1回行います。

イ 職員研修

(ア) 知識向上、障害・泳力、危機予防、法令遵守の4区分として研修を行い、パラスポーツ指導員として必要な専門知識向上を目指す職員研修を年間4回行います。

(イ) 利用者の安全を確保するため、公開訓練を含む水難訓練を行います。

6 令和6年度成果目標

	年間障害者利用数	全国障害者スポーツ大会に向けた水泳教室の参加者数
令和6年度目標	13,800人	2,300人